

## 大学院修了式 旅立ちの日

### -先生、助教陣からお祝いのメッセージ-

3月23日、平成20年度の本学の学位記授与式が行われ、都市デザイン研究室では博士課程1名(ウィモンラット)、修士課程10名(蛸灰谷、鎌形、亀長、北村、鈴木、大道、ナツポン、平岡、増田、矢原、山田)、空間計画研究室では修士課程4名(任、上田、柏原、長澤)、合わせて15名の院生が学位を得た。

先日、小学校四年の次男とお風呂に入っていて「何で勉強するのかな?」と突然尋ねられました。とりあえず「楽しいからじゃないかな。知らないよりも知っていた方が楽しくない?」と答えました。どう楽しいかをしばらくしゃべったあとに「もうひとつは、きっと責任を果たすためじゃないかな。世界で何が起っていて、自分がそれにどう影響しているか、ちゃんと知って、どうすればいいのか考えられた方が良くない?」と答えました。自分でも壮大すぎると思いましたが、仕事にも楽しい部分はあるし、その影響を考えた方が良いのだらうと思いました。卒業おめでとう。これからのみなさんとおつきあいを心から楽しみにしています。

窪田 垂矢



Congratulations. While you are graduating at a time of great economic uncertainty it is also a time of great opportunity. Individuals, government, institutions and people will be clamoring for new innovations and technologies to get beyond the current conditions and shape this new century. You have a great responsibility to make sure that the ideas and achievements from the past are not lost in this rush to the future but become a part of it. I hope this great responsibility will also come with many rewards. Best of luck.

Chester Liebs

正直に言えば、毎年春のこの日は、とても寂しい。そして巣立って行く人々が眩しく、羨ましい。3年間で見事に博士論文を仕上げたユイさん、おめでとう。昔に比べてずいぶん大人数になった留学生陣の中で、「大人」であったユイさんの存在感はすごく大きかった。また、修士を無事、修了する皆さん、こちらもおめでとう。学年全体で仲が良い、相思相愛に溢れた素晴らしい学年だった。この2年間を共有した者にしか手に入れない仲間意識、絆はずっと大事にしていて欲しい。しかし一方で、これからは集団の一人としてではなく、それぞれが「自分」のプレゼンスをしっかりと社会の中で確立して欲しい。そのために、まずは20代のうちに何を為すべきか、それを大きく強く構想してもらいたい。これからもよろしく。

中島 直人

## 修了おめでとうございます!!

先生、助教の方々からメッセージ

天下の名先生、坂本金八先生のお言葉をお借りします。こんな言葉があるらしい。

「「大切」という字は大きく切ると書きます。

真っ二つにされる覚悟があるからこそ、

その人のことを大切にできるんですね。」

一見穏やかな優しさや現状維持は、本当に人や街を導いているとは限らないかもしれない今日この頃。大きな変革期の渦の中にある今、ステキなミライを引き寄せるためにも、表層にまどわされず、本当に大切なものは何か、そして、そのために切るべきものは何か、自分の心と頭で考えて、そして、自信を持ってチャレンジしてください。おめでとうございます。

野原 卓

修了おめでとうございます。何事も始めなければ動くわけがない、Eighty percent of success is showing up.ということで、今後のみなさんの果敢なチャレンジを楽しみにしています。同じ時期に都市デザイン研究室で出会った縁を大切に。

阿部 大輔

# 研究室への置き手紙

この春研究室を旅立つ修士2年の10名の方々に、修了に向けて一言頂きました！

この2年間で出会えたすべての人に感謝しています。マガジンの発行も頑張ってくださいね。デザ研&マガジンよ永遠なれ☆



Ai KAKIBAYA

蛸灰谷 愛



Takato KAMAGATA

鎌形 敬人

この研究室は、やると決めるのも自分次第、やらないと決めるのも自分次第。一見、放任主義ですが、やると決めたら、最高の先生方と最高の仲間がサポートしてくれます。いやというほど、指導し、議論し、そしてともに悩んでくれます。そんな情熱いっぱい研究室で、ぜひ全力で走り続けてほしいと思います。

都市というものに関わり、それについて考える時間を持つ幸せをもう少し多く噛みしめておきたかったと感じています。研究室に長くいらっしゃる方もいつかは離れる方も、存分に今を満喫してほしいと思います。お世話になりました。皆様のご活躍を祈念します。共に頑張りましょう。



Naohiro KAMENAGA

亀長 尚尋



Shuichi KITAMURA

北村 修一

コツコツ準備していたつもりでも、やりたいことを明確にしていたつもりでも、やっぱり迷ってしまったり慌ててしまったりすることがあります。プロジェクトでも修論でも。けれど、いつも最善の方向へ進み続けるのは難しいと思います。だから、あまり考え込まず、ひたすら前に進むことだけを考えて課題に取り組んでください!!

修士の2年は本当にあっという間で何を目的として据えるのかは本当に大事だけど、その目的の為に研究室における人間関係をおろそかにしてはいけないなあ、と感じました。セミプロとしての立場はあれど、せっかく同じ研究室にいて、仕事関係が前提となっているのは残念に思います。人として、もっと深くかわりたかったと思っています。…おれだけ?笑



Junya SUZUKI

鈴木 惇也



Akira DAIDO

大道 亮

プロジェクトで苦しいとき、就職活動で悩んでいるとき、論文で行き詰まったとき、多くの先輩方に指導・助言をいただきました。本当にありがとうございました。新M2のみなさまへ。都市デザイン研究室の上下のつながりの濃さは、他の研究室にはない大きな財産だと思います。どうかこれを活かし、また、つなげていってください。

この2年間で、思い出せないくらいいろいろなことがあり、計りきれないくらい貴重な時間をすごすことができました。そして、数え切れないくらいたくさんの方にお世話になりました。本当にありがとうございました。



Yui HIRAOKAI

平岡 惟



Keisuke MASUDA

増田 圭輔

あまり学校に来なかった為、僕のことを初めて知る方も多いかと思います。そして僕は卒業します。論文頑張ってください。終わる終わらないじゃない、終わらすことが大事です!!

柏の葉、神楽坂、喜多方、京都、マレーシア、、多くのまちと人から教わった2年間でした。沢山の機会を与えてくださり、指導をしてくださった先生方には感謝しきれません。先輩方、M2の皆さん、後輩の皆さんにも大変お世話になりました。今後もマガジンを楽しむにしつつ、OGとして掲載されるように精進します。



Yuri YAHARA

矢原 有理



Nagisa YAMADA

山田 渚

デザ研では、学生という身分をフルに使って、鞆の方々に提案をしたり、横浜で社会人の方と議論をして青いけど自分なりの考えをぶつかけたり、映画監督や市長に会えたり…と濃密で貴重な体験の場を与えてもらいました。後輩の方々も社会人になる手前の今、このときをフルに活かして、今しかできないことにチャレンジして下さい。